

「一筆箋 銀座」発売のお知らせ

1663年創業の、香と和紙・和文具の専門店・鳩居堂は、2016年6月29日に、オリジナル一筆箋「一筆箋 銀座」を発売します。

鳩居堂が、創業の地である京都・寺町から東京・銀座に進出したのは、今から136年前、1880年のことです。「宮中の御用」を務めるため、明治の遷都（せんと）にあわせ、皇居へと道一本で行ける現在の地（東京都中央区銀座5-7-4）に「東京出張所」を構えました。「東京出張所」は、後に「東京鳩居堂」として独立しますが、出張所設立から今日に至るまで、銀座の街の発展と共に、その歴史を刻み続けています。

日本有数の商業都市である銀座は、現在では「流行の発信地」の1つとして、国内のみならず、世界からも注目される街となっています。また、日本人にとっても、「団塊（だんかい）の世代」の方々を中心に、青春時代など、人生の大切な時間をこの街で過ごしたという方は大変多く、銀座の街に対して、特別な思いを持たれている方も少なくありません。

今回、多くの日本人にとって、また、鳩居堂にとっても、非常に思い入れの深い街・銀座の街の風景を、可愛らしい「一筆箋」で表現しました。「銀座」の名に恥じぬよう、紙質やデザイン、色など、細部までこだわった一冊です。



◇一筆箋 銀座（縦） [写真・左]

☞銀座通りを走る都電や、風になびく柳、やわらかな光をたたえるガス灯—。ノスタルジックな雰囲気溢れる「昭和の銀座」を表現しました。

◇一筆箋 銀座（横） [写真・右]

☞日本国内のみならず、世界からも注目される流行の発信地・銀座。その中心、四丁目交差点の「今」を表現しました。

◆5色入 各5枚 各380円+税

2016年6月29日(水)より、鳩居堂各店にて一斉発売します。



「日本の伝統色」から、「^{くりいろ}栗色」「^{あいいろ}藍色」「^{わか}藤紫色」「^{くさ}若草色」「^{やまぶき}山吹色」の5色を選抜（5色各5枚、計25枚）。鳩居堂製の「一筆箋」では初の「アソート」タイプです。

↓→

↑中紙には、「書くことのプロ」である作家達に愛され、支持されてきた「原稿用紙」と同質の紙を使用。「万年筆」など、各種筆記具との相性も抜群です。

↑「縦」型では、昭和30年頃の銀座を表現。当時は銀座通りにも、路面電車が走っていました。鳩居堂のビルの屋上には、大きな「広告塔」が。

